

令和 6 年度

公益財団法人 鹿児島市水族館公社

決算に関する書類

公益財団法人 鹿児島市水族館公社

目 次

令和6年度公益財団法人鹿児島市水族館公社事業報告書

1	概要	-----	1
2	事業活動の状況	-----	1
3	会議に関する事項	-----	12
4	役員等に関する事項	-----	13
5	登記事項	-----	14
6	常勤の役員及び職員に関する事項	-----	15

令和6年度公益財団法人鹿児島市水族館公社決算報告書

1	貸借対照表	-----	17
2	貸借対照表内訳表	-----	18
3	正味財産増減計算書	-----	19
4	正味財産増減計算書内訳表	-----	20
5	財務諸表に対する注記	-----	22
6	附属明細書	-----	24
7	財産目録	-----	25
	監査報告書	-----	27

令和6年度公益財団法人鹿児島市水族館公社事業報告書

1 概要

令和6年度は、かごしま水族館の指定管理者として効率的な管理運営に努めるとともに、「かごしま水族館運営計画」の推進体制の強化を図るために組織整備を行い、同計画の着実な推進に取り組んだほか、次期計画の策定を進めました。

展示の充実・新たな魅力づくりについては、ジンベエザメの飼育を継続するとともに、カツオ、グルクマを黒潮大水槽に搬入するなど、展示の充実を図ったほか、イベント「いるかの時間」等の更新を行いました。また鶴岡市立加茂水族館との交流事業を再開し、職員の相互派遣や、姉妹館盟約10周年を記念した特別パネル展等を行いました。

学習交流活動及び水族館SDGsの推進については、さまざまな世代や目的に応じた体験プログラムを企画し実施したほか、繁忙期には動物福祉に配慮したタッチプールのミニ企画展「タッチはお休み 見よう！さがそう！生きもののひみつ」を行いました。そのほか、イルカ・ゴマフアザラシの繁殖に取り組み、2月にイルカの赤ちゃんが誕生しました。

情報発信力の強化及び受入態勢の充実については、ゴールデンウィークや夏休み等に合わせて県内の学校等にイベントチラシを配布したほか、SNSを活用した情報発信を積極的に行いました。

戦略的な誘致活動の推進については、テレビCMの放映のほか、県内幼稚園・保育園等訪問や関西・関東地区等において教育旅行誘致セールスを実施しました。また、台湾などの海外現地セールスを5年ぶりに再開いたしました。

館内外の魅力づくりについては、ユニークベニュー事業として修学旅行の他、企業の社員旅行や顧客サービスイベント、フルコースのディナー食事会等の「貸切水族館」を実施しました。また、鹿児島国際大学と共同で体験型謎解きイベントも引き続き開催いたしました。

ショップの収益力強化については、新規商品の販売や、特別企画展とタイアップした商品販売のほか、当館と加茂水族館のオリジナル商品の相互販売を行いました。

令和6年度の入館者数は718,532人、入館料収納額は620,738,780円となりました。(P8 別表1)

2 事業活動の状況

(1) 公益事業

鹿児島市との協定に基づきかごしま水族館の管理運営等を行うとともに、水族の保護及び水族に関する教育文化の振興に寄与するため自主事業と受託事業を行いました。

1) 自主事業

① 水族館スクールの開催

水族に関する知識の普及や啓発を目的に水族館スクールを実施しました。

	実施日	タイトル	参加人数	合計
第1回	6月16日	体験！一日飼育係	16人	
第2回	6月30日	大人のための体験飼育係	14人	
第3回	11月23日	体験！一日飼育係	16人	
第4回	12月15日	大人のための体験飼育係	16人	94人
第5回	1月26日	体験！一日飼育係	16人	
第6回	3月20日	体験！一日飼育係	16人	

② ニュースレター「さくらじまの海」の発行

展示生物の紹介やかごしま水族館のイベント・トピックス等を紹介する情報誌「さくらじまの海」を4回発行し、学校・団体等に配布しました。

③ かごしま水族館ボランティアの運営

令和6年度は館内外のイベントに協力したほか、ボランティアの自主活動制度を創設し、ボランティア同士の交流を目的としたSNSを運営する「かすいボラ広場」や標本を使いながら来館者に解説を行う「標本ワンダークラブ」などの自主活動グループを立ち上げました。

また、27期となる新規ボランティアの募集を行いました。

ボランティア（平成10年から）	人 数
第1期生～第26期生（令和7年3月末現在）	99人

④ 水族の保護及び保存に関する調査研究活動

ア. 錦江湾鯨類調査

錦江湾鯨類目視調査を計10回実施しました。

調査エリア別鯨類発見群頭数

調査日	発見	場所/方法
5月 7日	なし	知林ヶ島沖/船舶
6月 4日	ミナミハンドウイルカ 1群 20頭	湾央から湾奥/車両
7月 2日	ミナミハンドウイルカ 1群 30頭 ハセイルカ 1群 100頭	湾全域/船舶 3隻
8月 6日	カツオクジラ 1頭 ハシナガイルカ 1群 500頭 種不明イルカ数頭	野間池沖/船舶
9月 3日	ゴマフアザラシ 1頭	湾央から湾奥/車両
10月 9日	なし	湾央から湾奥/船舶
10月 29日	なし	湾央から湾奥/車両
12月 10日	なし	湾央/船舶
1月 22日	ミナミハンドウイルカ 1群 20頭	湾全域/船舶 3隻
2月 7日	なし	湾央から湾奥/車両

イ. 「鹿児島の海のほ乳類」の発刊

当館が継続してきた鹿児島湾鯨類調査やストラニティング調査の結果を中心に、鹿児島の海域に出現する海棲哺乳類の生態を紹介し、鯨類の認知や繁殖等について当館が研究機関と共同研究してきたことを加えた本を出版しました。

2) 受託事業

① 敷地、建築物及び附属設備等の維持管理

建物等の清掃、警備及び維持管理、諸設備の運転管理や保守を行うとともに、イルカ館エレベーター やオゾン装置の更新、冷凍機や冷却塔の改修等を行いました。また、鹿児島市の「公共建築物ストックマネジメント事業」に基づき、計画的な建築物等の維持保全に努めるとともに、鹿児島市認定の環境管理事業所として引き続きエネルギーの消費削減に努めました。

② 水族の収集、飼育及び展示

ア. 黒潮大水槽の展示

ジンベエザメを健全に飼育するために照明時間や給餌量の調整、定期的な血液検査などを行ったほか、カツオ182尾、グルクマ110尾を搬入するなど、展示の充実に努めました。

イ. 地域の特色魚類の展示

地元の漁師の協力や職員の自家採集でメガネモチノウオやハナガサクラゲ、アオリイカなど、地域に馴染みのある生きものの展示を行いました。

ウ. イルカ・アザラシの繁殖に向けての取組

イルカの繁殖を目指し内視鏡を使用した人工授精を行いました。また自然繁殖により2月24日にはマールに赤ちゃんイルカ（メス）が生まれました。

エ. 新規の館内展示水族

主な新規展示水族

展示開始日	生物名	展示開始日	生物名
5月20日	ショウジョウウミウシ	11月26日	ムラサキクラゲ
5月23日	ヨコヅナマルコバン	12月15日	ウミガエミノウミ
5月30日	ブッショドノエルウミウシ	1月4日	ミドリハナガサウミウシの1種
6月6日	シマダコ	2月28日	ツノクラゲ
7月5日	チチュウカイイボクラゲ		

③ 特別企画展の開催

常設展示とは異なったテーマで様々なアイデアや趣向を凝らし、ポピュラーな話題から専門的なものまで深く掘りさげて情報提供するとともに、リピーターの方々にも楽しんでいただけるように、特別企画展を実施しました。

特別企画展

開催期間	タイトル
3月15日～ 6月2日	「実は○○だった生きものたち～Part 2」
7月12日～11月4日	「海の中をサバイバル！ 毒を使って 身を守る」
3月14日～ 6月8日	「のぞいてみよう 海藻の世界」

④ 教育普及活動・体験型講座の実施

薩摩伝統の郷中教育の要素を取り入れた体験型連続講座「いおっ子海っ子体験塾」や、学校及び団体向けのプログラム「いおワールド生きもの講座」、職場体験や学芸員等実習の受入れを行いました。

	タイトル	実施回数	参加人数
1	いおっ子海っ子体験塾	7回	115人
2	ワクワクきびなご塾	10回	679人
3	いおワールド生きもの講座	259回	11, 970人
4	職場体験学習	29回	82人
5	学芸員等実習	10回	10人
合 計		315回	12, 856人

⑤ 水族館 S D G s の推進

ア. 4 園館連続講座の実施

かごしま環境未来館、平川動物公園及び重富海岸自然ふれあい館なぎさミュージアムと連携して S D G s に関する講座を実施しました。

イ. タッチプールの新しい取組

水産資源の維持継続的な利用や動物福祉に配慮したタッチプールの取組として、生きものが傷つきやすい繁忙期には生きものタッチを中止して、触らないからこそ見られる生きものの様子や生態を伝えるミニ企画展「タッチはお休み 見よう！さがそう！生きもののひみつ」を 4 回実施しました。

⑥ 各種イベントの実施

通常の館内イベントのほか、次の特別イベントを実施いたしました。

	イベント名 (回数等)	内 容
1	いおの日 (12回)	「ウナギのひみつを知ろう！」など新規 2 講座を含む全 12 講座を実施しました。
2	夜の水族館 (23回)	GW、夏休みの土、日曜日、祝日とお盆期間に開館時間を 21 時まで延長しました。
3	黒潮大水槽バックヤード一般公開 (8回)	普段見ることができない黒潮大水槽の裏側を開きました。
4	トワイライトアクアリウム (22回)	水槽照明を変更して、夜の魚たちの様子を観察できるようにするほか、館内の BGM の変更や館外にイルミネーションを設置し、普段とは違う雰囲気を演出する「夜の水族館」限定のイベントを行いました。
5	星に願いを！～水族館で七夕飾り～	7月1日～8月7日の期間で来館者に短冊に願い事を書いていただきました。
6	フォトコンテスト	水族館の生きものを対象にしたフォトコンテストを実施しました。応募数 423 作品 優秀作品 31 作品 展示期間 12月7日～1月31日
7	ジンベエザメの食事をまぢかで見よう (25回)	黒潮大水槽のバックヤードからジンベエザメの食事の様子を飼育員が解説するイベントを行いました。
8	水族館で凧を作ろう！	1月3日に水族館の生きものを描いてオリジナルの凧を作るイベントを行いました。
9	アクアリウム night ヨガ (3回)、朝ヨガ (2回)、朝ピラティス (1回)	リビングかごしま及び鹿児島市スポーツ振興協会と共同で黒潮大水槽前でヨガイベントを行いました。
10	紙粘土でつくろう (2回)	紙粘土でジンベエザメやイルカなど海の生きものを作るイベントを行いました。
11	イルカに合図をだしてみよう！&イルカと記念撮影 (8回)	イルカに合図を出す体験と、記念撮影が楽しめるイベントを実施しました。
12	イルカ館スペシャルバックヤードツアー (2回)	普段は見ることのできないイルカプール・アザラシ水槽のバックヤードを飼育員が案内するイベントを実施しました。
13	いぶたま水族館	JR九州観光列車「特急指宿のたまで箱」とコラボイベントを行いました。10月28日に列車内に水槽を設置し、錦江湾の生きものの解説を行ったほか、10月22日には水族館内でJR九州のPRイベントを実施しました。また、鹿児島中央駅構内に9月20日～10月6日の期間伊勢エビ水槽を設置し水族館のPRを行いました。

14	海の生きもののハーバリウムを作ろう（3回）	イルカやクラゲなどのハーバリウムワークショップを行いました。
15	特別企画展関連イベント	特別企画展開催に合わせて、特別イベントを行いました。 ・「水族館で探そう！毒で身を守る生きもの」（7月20日～9月1日） ・「海藻押し葉で海の森図鑑をつくろう」（3月30日）
16	ミニコンサート（4回）	黒潮大水槽の前でハンドベルやコントラバス、琴などのミニコンサートを開催しました。
17	イラストレーターと絵はがきづくり（2回）	イラストレーターのさくらもち氏と共同で絵はがきを作るワークショップを行いました。
18	謎解きイベント「アクアリウムパニック 海のからだを取り戻せ」	鹿児島国際大学と共同で暗号やパズルを解きながら館内を巡る体験型謎解きイベントを2月8日と22日に実施しました。
19	海の生きもののペーパークラフトを作ろう！（3回）	深海生物のペーパークラフトを作るワークショップを行いました。
20	イルカの質問大募集	イルカについての質問を募集し、回答を館内の掲示板やSNSで公開しました。
21	イルカ水路の魚たちにエサをあげてみよう！（3回）	イルカ水路のブリやマダイにエサをあげるイベントを行いました。
22	サメを観察してみよう！	サメを観察し、スケッチをするなどしてサメの多様性を学ぶイベントを行いました。
23	水の生きもののジェルキャンドルをつくろう	カラーサンドと水の生きもののガラス細工でジェルキャンドルを作るワークショップを行いました。
24	鶴岡市立加茂水族館姉妹館盟約10周年記念特別展示	加茂水族館との姉妹館盟約10周年を記念して、パネルや映像で加茂水族館に関することや職員交流の様子、加茂水族館の美しいクラゲなどを紹介しました。
25	イルカ水路イルミネーション	クリスマスに合わせてイルカ水路に大きなボール型のイルミネーションを浮かべ、ライトアップしました。

※網かけは令和6年度初実施のイベント

⑦ 広報宣伝・入館者誘致事業

テレビCMの放映及び旅行代理店・学校の訪問誘致活動を実施しました。その他、報道機関への情報提供に努めました。

ア. テレビCM等の制作・放送

春休みの観客誘致のために、15秒のテレビCMを制作し、県内及び熊本・宮崎県で放映しました。

時期	地 域	放送期間	本数
夏休み	鹿児島・宮崎・熊本県	7月12日～8月18日	773本

イ. 報道機関への情報提供

新たな展示水族等に関する「いおワールド情報」を報道機関へ提供し、新聞記事として掲載されたほか、テレビ等で報道されました。

ウ. SNSを活用した取組

公式SNSで生きものやイベントの情報発信を981回行いました。

エ. 旅行代理店への誘致活動等

入館者増を図るため、旅行代理店や学校並びに幼稚園・保育園等を訪問し、誘致活動を行いました。

地域	訪問先	訪問件数	合計
中国地区	学校・旅行代理店	32件	604件
関西地区	学校・旅行代理店	63件	
九州地区	学校・旅行代理店	15件	
県内・都城及び熊本県南部	幼稚園・保育園	494件	

また、県内及び台湾や香港で行われたインバウンド商談会等にも積極的に参加し、海外観光客の誘客に努めました。

オ. 貸切水族館及び児童クラブ等団体送迎サービス

1日1組限定で閉館後の水族館を貸し切り楽しんでいただく「貸切水族館」を16団体受入れました。また、鹿児島市内の児童クラブを対象に、児童クラブから水族館まで「かごんまそらバス」による送迎サービスと、水族館の見学や往復の移動時間を利用した市内の観光ガイド事業を2団体に実施しました。

カ. その他

- ゴールデンウィークや夏休みなどのイベント情報を載せた水族館イベントチラシを作成し、市内・県内の小中学校や幼稚園・保育園等に配布しました。
- 電照広告看板をJR鹿児島中央駅や桜島フェリーに引き続き設置したほか、高速道路利用者に対する広報を引き続き実施しました
- 年間パスポートについては、イベントチラシ等により周知を図ったほか、鹿児島交通の水族館・動物園線のバスに平川動物公園との共同ラッピング広告や、市営バス等への広告を実施しました。
- 「かごしま水族館割引券」等の利用促進を図るため、県内のホテル・旅館41件を訪問しました。

⑧ 職員等の採用

公社員

採用日	職種	採用人数
4月1日	技術職員（展示・飼育）	2人

嘱託員

採用日	職種	採用人数
4月1日	券売・案内・アミューズメント ショップでの販売・展示解説	6人
5月1日	券売・案内・アミューズメント ショップでの販売・展示解説	3人

⑨ その他

能登半島地震を踏まえて、災害対策について検討を行う推進部会を設置し、災害時の対応等の調査を行いました。

(2) 収益事業

入館者の利便を図るとともに、自主事業や広報宣伝事業の財源を確保するためにアミューズメントショップの運営などの付帯事業を実施しました。

① アミューズメントショップ等

水族館に関する菓子やぬいぐるみ、文具雑貨等の商品を販売するアミューズメントショップの運営を行いました。また鹿児島市魚類市場で開催の「お魚ファン感謝デー」や鹿児島ユナイテッドFCのホームゲーム等の外部イベントに出店しました。

令和6年度売上額

アミューズメントショップ 297, 356, 124円 (P10 別表3)

② 自動販売機

入館者へのサービスに供するため自動販売機10台（展望ホール5台、イルカ館2台、屋外3台）の運営を行いました。

令和6年度販売手数料額 8, 953, 254円 (P10 別表3)

(別表1)

入館者の種別と入館料収納額

種 別		入館者数 (人)	構成比 (%)	入館料収納額 (円)	
有料入館者	個人	大人	276,834	38.5%	
		小人	62,868	8.7%	
		幼児	27,484	3.8%	
		敬老	3,962	0.6%	
		観光	52,591	7.3%	
		小計	(423,739)	(58.9%) (530,334,520)	
	団体	大人	18,984	2.6%	
		小人	21,379	3.0%	
		幼児	3,459	0.5%	
		小計	(43,822)	(6.1%) (36,576,720)	
	市内学校教育等	大人	156	0.1%	
		小人	4,044	0.6%	
		幼児	4,994	0.7%	
		小計	(9,194)	(1.4%) (2,507,450)	
	年間パスポート	大人	15,722	2.2%	
		小人	4,049	0.6%	
		幼児	3,715	0.5%	
		小計	(23,486)	(3.3%) (51,320,090)	
	年間2回パスポート以降	大人	54,042	7.5%	
		小人	10,825	1.5%	
		幼児	14,666	2.0%	
		小計	(79,533)	(11.0%)	
有料合計		579,774	80.7%	620,738,780	
無料入館者	個人	障害者手帳等	26,814	3.7%	
		3歳以下等	90,541	12.6%	
		視察その他	2,714	0.4%	
		小計	(120,069)	(16.7%)	
	団体	生徒等	8,319	1.2%	
		引率	10,370	1.4%	
		小計	(18,689)	(2.6%)	
		無料合計	138,758	19.3%	
合計		718,532	100.0%		
開館日数		359日	休館日 12月2日から12月5日まで 臨時休館 8月8日・9日		
1日平均入館者		2,001人			
1日最多入館者		10,927人	5月 4日 (水)		
1日最小入館者		442人	12月17日 (火)		

(別表2)

月別入館者の状況

(単位：人)

月	開館 日数	有 料						無料計	月計
		大人	小人	幼児	敬老	年間パス (2回目以降)	小計		
4月	30	27,319	7,621	2,803	321	7,121	45,185	11,333	56,518
5月	31	35,959	12,155	1,798	336	5,952	56,200	15,617	71,817
6月	30	22,777	5,810	2,869	257	6,760	38,473	10,829	49,302
7月	31	32,256	8,516	3,831	349	7,932	52,884	13,521	66,405
8月	29	59,284	21,415	6,555	818	9,590	97,662	19,482	117,144
9月	30	31,512	6,522	3,553	298	7,174	49,059	12,019	61,078
10月	31	23,733	7,439	3,179	234	5,241	39,826	9,882	49,708
11月	30	23,004	8,924	3,062	276	5,644	40,910	10,919	51,829
12月	27	21,861	6,147	2,669	240	5,561	36,478	7,695	44,173
1月	31	23,626	4,777	3,274	259	5,714	37,650	8,462	46,112
2月	28	23,176	3,691	3,239	168	5,738	36,012	8,302	44,314
3月	31	30,596	7,739	3,588	406	7,106	49,435	10,697	60,132
計	359	355,103	100,756	40,420	3,962	79,533	579,774	138,758	718,532
構成比		49.4%	14.0%	5.6%	0.6%	11.1%	80.7%	19.3%	100.0%

(別表3)

アミューズメントショップ・自動販売機の状況

(1) アミューズメントショップの購買者数・利用率・売上額・客単価

(単位:人、円)

入館者数 (A)	購買者数 (B)	利用率 (B/A)	売上額 (C)	客単価	
				(C/B)	(C/A)
718,532	195,961	27.3%	297,356,124	1,517	414

(2) 自動販売機の購買個数・利用率・手数料額

(単位:人、円)

入館者数 (A)	購買個数 (B)	利用率 (B/A)	手数料額 (C)
718,532	172,566	24.0%	8,953,254

(3) 月別状況

	アミューズメントショップ		自動販売機	
	売上額(円)	構成比	手数料額(円)	構成比
4月	22,654,730	7.6%	687,615	7.7%
5月	31,276,713	10.5%	831,353	9.3%
6月	16,555,993	5.6%	454,249	5.1%
7月	26,733,020	9.0%	751,959	8.4%
8月	54,764,829	18.4%	1,917,537	21.4%
9月	24,254,808	8.2%	943,297	10.5%
10月	21,815,659	7.3%	537,720	6.0%
11月	23,472,930	7.9%	680,803	7.6%
12月	18,735,975	6.3%	334,467	3.7%
1月	17,885,045	6.0%	716,557	8.0%
2月	15,430,754	5.2%	461,073	5.2%
3月	23,775,668	8.0%	636,624	7.1%
計	297,356,124	100.0%	8,953,254	100.0%
令和5年度比	△ 15,600,914	95.0%	756,574	109.2%

来館者アンケート調査結果（概要）

(1) 来館者の地域別状況

地 域		調 査 日	
		7月27日(土) ～8月2日(金)	2月1日(土) ～2月7日(金)
市 内		31.4	30.6
県 内		21.5	14.9
県 外	福 岡	6.1	9.7
	佐 賀	1.8	1.3
	長 崎	1.2	1.5
	熊 本	10.2	8.0
	大 分	0.9	0.6
	宮 崎	7.8	9.1
	中国地方	1.9	1.5
	関西地方	5.5	4.0
	関東地方	7.3	8.8
	そ の 他	3.6	5.0
小 計		46.3	49.5
海 外		0.8	5.0
合 計		100.0	100.0

(2) 情報手段

種 别		調 査 日	
		7月27日(土) ～8月2日(金)	2月1日(土) ～2月7日(金)
テ レ ビ 報 道 等		9.0	6.8
新 聞		1.8	1.1
家 族		24.1	23.7
友 人・知 人		8.5	11.0
ポ ス タ ー		3.5	2.2
チ ラ シ		9.8	2.6
雑 誌		2.7	3.0
ラ ジ オ		0.2	0.1
旅 行 業 者		0.7	0.6
ホ ー ム ペ ー ジ		8.3	11.2
S N S		4.2	3.5
年間パスポートを所持		12.2	15.0
特になし（なんとなく）		11.4	15.0
そ の 他		3.6	4.2
合 計		100.0	100.0

※ サンプル数は、

令和6年7～8月調査 1,921人

令和7年2月調査 900人

3 会議に関する事項

(1) 理事会

令和6年度の理事会の開催状況及び議決事項は次のとおりです。

区分	開催日	議決事項等
第1回	令和6年 4月18日	公益財団法人鹿児島市水族館公社役員及び評議員の報酬等及び費用に関する規程一部改正に係る評議員会招集の件
第2回	令和6年 6月 1日	公益財団法人鹿児島市水族館公社評議員選任に係る評議員会招集の件
第3回	令和6年 6月13日	令和5年度公益財団法人鹿児島市水族館公社事業報告及び収支決算 令和6年度第3回評議員会招集の件
第4回	令和6年 6月28日	公益財団法人鹿児島市水族館公社理事長（代表理事）、副理事長及び常務理事選定の件
第5回	令和7年 2月12日	公益財団法人鹿児島市水族館公社理事選任の件に係る評議員会招集の件
第6回	令和7年 3月11日	公益財団法人鹿児島市水族館公社副理事長選定の件 公益財団法人鹿児島市水族館公社職員就業規則一部改正の件 公益財団法人鹿児島市水族館公社職員給与規程一部改正の件 公益財団法人鹿児島市水族館公社職員退職手当支給規程一部改正の件 令和6年度公益財団法人鹿児島市水族館公社収支補正予算 令和7年度公益財団法人鹿児島市水族館公社事業計画 令和7年度公益財団法人鹿児島市水族館公社収支予算 令和6年度第5回評議員会招集の件

(2) 評議員会

令和6年度の評議員会の開催状況及び議決事項は次のとおりです。

区分	開 催 日	議 決 事 項
第1回	令和6年 4月18日	公益財団法人鹿児島市水族館公社役員及び評議員の報酬等及び費用に関する規程一部改正の件
第2回	令和6年 6月 1日	公益財団法人鹿児島市水族館公社評議員選任の件
第3回	令和6年 6月28日	令和5年度公益財団法人鹿児島市水族館公社事業報告及び収支決算 公益財団法人鹿児島市水族館公社理事及び評議員選任の件 評議員会会長選定の件
第4回	令和7年 2月12日	公益財団法人鹿児島市水族館公社理事選任の件
第5回	令和7年 3月19日	令和6年度公益財団法人鹿児島市水族館公社収支補正予算 令和7年度公益財団法人鹿児島市水族館公社事業計画 令和7年度公益財団法人鹿児島市水族館公社収支予算

4 役員等に関する事項

(1) 令和7年3月31日現在の役員は次のとおりです。

役職名	氏 名
理事長	下鶴 隆央
副理事長	松枝 岩根
常務理事	山口 順一
理事	犬伏 和章
理事	佐潟 隆一
理事	寺菌 玲子
理事	中野 寿康
理事	西 隆一郎
理事	西野 友季子
理事	山元 紀子
理事	原之園 哲哉
理事	中 豊司
監事	高橋 雷太
監事	小林 拓史

(2) 令和7年3月31日現在の評議員は次のとおりです。

役職名	氏名
会長	杉木 和子
評議員	伊口 秀樹
評議員	池浦 也寸志
評議員	池田 哲也
評議員	川添 啓子
評議員	橋木 宏幸
評議員	宮浦 和英
評議員	本村 浩之
評議員	山本 智子
評議員	渡 千左代
評議員	佐土原 隆
評議員	奥 眞一

5 登記事項

令和6年度の登記事項は次のとおりです。

登記年月日	申請先	事項	登記原因年月日
令和6年 6月12日	鹿児島地方法務局	理事及び評議員の変更	令和6年 6月 1日
令和6年 7月12日	鹿児島地方法務局	理事及び評議員の変更	令和6年 6月28日
令和7年 3月25日	鹿児島地方法務局	理事の変更	令和7年 3月11日

6 常勤の役員及び職員に関する事項

令和7年3月31日現在の人員は次のとおりです。

常務理事	事務局長	公社職員	嘱託員	臨時職員
1人	1人	34人	25人	42人
		事務局参事 1人	アクアキャスト	事務補助 6人
		館長 1人	券売・案内・展示解説 16人	設備管理補助 1人
		総務課 7人	商品販売・管理 9人	飼育補助員 9人
		課長 1人		調餌補助 5人
		主幹 1人		展示解説 21人
		管理係		
		係長 1人		
		主任 2人		
		施設係		
		係長 (総務課主幹事務取扱) 1人		
		主査 1人		
		技術職員 1人		
		企画営業課 3人		
		課長 (事務局参事事務取扱)		
		企画営業係		
		係長 1人		
		主任 1人		
		事務職員 1人		
		展示第一課 15人		
		課長 1人		
		主幹 2人		
		魚類展示係		
		係長 (展示課主幹事務取扱) 1人		
		主査 3人		
		主任 5人		
		技術職員		
		学習交流係		
		係長 (展示課主幹事務取扱) 1人		
		主任 2人		
		技術職員		
		展示第二課 7人		
		海獣展示係		
		係長 1人		
		主任 2人		
		技術職員 4人		

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則（平成19年法務省令第28号）
第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しないため、
令和6年度事業報告の附属明細書については作成しておりません。

令和6年度公益財団法人鹿児島市水族館公社決算報告書

1 貸 借 対 照 表

令和7年3月31日現在 (単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	211,801,622	320,367,507	△ 108,565,885
未収金	8,212,624	7,492,137	720,487
商品	1,236,793	890,774	346,019
貯蔵品	1,816,110	1,948,795	△ 132,685
流動資産合計	223,067,149	330,699,213	△ 107,632,064
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	82,395,900	82,538,938	△ 143,038
投資有価証券	117,604,100	117,461,062	143,038
基本財産合計	200,000,000	200,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	251,020,438	235,598,518	15,421,920
減価償却引当資産	15,247,534	14,191,566	1,055,968
特定費用準備資産	4,725,000	6,243,000	△ 1,518,000
特定資産合計	270,992,972	256,033,084	14,959,888
(3) その他固定資産			
車両運搬具	1	1	0
什器備品	1,817,765	2,764,833	△ 947,068
預託金	10,550	10,550	0
その他固定資産合計	1,828,316	2,775,384	△ 947,068
固定資産合計	472,821,288	458,808,468	14,012,820
資産合計	695,888,437	789,507,681	△ 93,619,244
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	94,784,748	156,657,402	△ 61,872,654
預り金	6,556,448	8,142,328	△ 1,585,880
未払法人税等	71,000	150,700	△ 79,700
流動負債合計	101,412,196	164,950,430	△ 63,538,234
2. 固定負債			
退職給付引当金	251,020,438	235,598,518	15,421,920
固定負債合計	251,020,438	235,598,518	15,421,920
負債合計	352,432,634	400,548,948	△ 48,116,314
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	200,000,000	200,000,000	0
指定正味財産合計	200,000,000	200,000,000	0
2. 一般正味財産			
剩余金	143,455,803	188,958,733	△ 45,502,930
一般正味財産合計	143,455,803	188,958,733	△ 45,502,930
正味財産合計	343,455,803	388,958,733	△ 45,502,930
負債及び正味財産合計	695,888,437	789,507,681	△ 93,619,244

2 貸借対照表内訳表

令和7年3月31日現在

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1.流動資産					
現金	10,217,109	4,075,487	0		14,292,596
普通預金	88,685,354	107,766,731	1,056,941		197,509,026
未収金	1,192,779	7,648,271	0	△ 628,426	8,212,624
商品	0	1,236,793	0		1,236,793
貯蔵品	0	1,816,110	0		1,816,110
流動資産合計	100,095,242	122,543,392	1,056,941	△ 628,426	223,067,149
2.固定資産					
(1) 基本財産					
普通預金	82,395,900	0	0		82,395,900
投資有価証券	117,604,100	0	0		117,604,100
基本財産合計	200,000,000	0	0	0	200,000,000
(2) 特定資産					
退職給付引当普通預金	215,125,018	722,420	15,173,000		231,020,438
退職給付引当有価証券	20,000,000	0	0		20,000,000
減価償却引当普通預金	1,598,669	13,648,865	0		15,247,534
特定費用準備普通預金	4,725,000	0	0		4,725,000
特定資産合計	241,448,687	14,371,285	15,173,000	0	270,992,972
(3) その他固定資産					
車両運搬具	1	0	0		1
什器備品	0	1,817,765	0		1,817,765
預託金	10,550	0	0		10,550
その他固定資産合計	10,551	1,817,765	0	0	1,828,316
固定資産合計	441,459,238	16,189,050	15,173,000	0	472,821,288
資産合計	541,554,480	138,732,442	16,229,941	△ 628,426	695,888,437
II 負債の部					
1.流動負債					
未払金	74,779,864	19,576,369	1,056,941	△ 628,426	94,784,748
預り金	6,556,448	0	0		6,556,448
未払法人税等	0	71,000	0		71,000
流動負債合計	81,336,312	19,647,369	1,056,941	△ 628,426	101,412,196
2.固定負債					
退職給付引当金	235,125,018	722,420	15,173,000		251,020,438
固定負債合計	235,125,018	722,420	15,173,000	0	251,020,438
負債合計	316,461,330	20,369,789	16,229,941	△ 628,426	352,432,634
III 正味財産の部					
1.指定正味財産					
寄付金	200,000,000	0	0	0	200,000,000
指定正味財産合計	200,000,000	0	0	0	200,000,000
2.一般正味財産					
剰余金	25,093,150	118,362,653	0	0	143,455,803
一般正味財産合計	25,093,150	118,362,653	0	0	143,455,803
正味財産合計	225,093,150	118,362,653	0	0	343,455,803
負債及び正味財産合計	541,554,480	138,732,442	16,229,941	△ 628,426	695,888,437

3 正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで (単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収益	805,493	643,038	162,455
特定資産運用収益	242,700	121,350	121,350
受取補助金等	822,447,946	807,711,083	14,736,863
事業収益	312,965,985	328,746,063	△ 15,780,078
雑収益	4,396,078	7,746,646	△ 3,350,568
経常収益計	1,140,858,202	1,144,968,180	△ 4,109,978
(2) 経常費用			
自主事業費	5,479,081	2,124,905	3,354,176
受託事業費	870,158,229	836,795,663	33,362,566
収益事業費	265,374,022	270,567,032	△ 5,193,010
法人会計	45,278,800	39,130,849	6,147,951
経常費用計	1,186,290,132	1,148,618,449	37,671,683
当期経常増減額	△ 45,431,930	△ 3,650,269	△ 41,781,661
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 45,431,930	△ 3,650,269	△ 41,781,661
法人税、住民税及び事業税	71,000	150,700	△ 79,700
当期一般正味財産増減額	△ 45,502,930	△ 3,800,969	△ 41,701,961
一般正味財産期首残高	188,958,733	192,759,702	△ 3,800,969
一般正味財産期末残高	143,455,803	188,958,733	△ 45,502,930
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000,000	200,000,000	0
指定正味財産期末残高	200,000,000	200,000,000	0
III 正味財産期末残高	343,455,803	388,958,733	△ 45,502,930

4 正味財産増減計算書内訳表

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業会計	法人会計	合 計
	自主事業	受託事業	小計			
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用収益	805,493	0	805,493	0	0	805,493
基本財産受取利息	805,493	0	805,493	0	0	805,493
特定資産運用収益	0	242,700	242,700	0	0	242,700
特定資産受取利息	0	242,700	242,700	0	0	242,700
受取補助金等	0	787,699,994	787,699,994	0	34,747,952	822,447,946
管理受託収益	0	787,199,994	787,199,994	0	34,747,952	821,947,946
受取民間助成金	0	500,000	500,000	0	0	500,000
事業収益	0	0	0	312,965,985	0	312,965,985
館内販売事業収益	0	0	0	297,491,131	0	297,491,131
自動販売機収入等	0	0	0	15,474,854	0	15,474,854
雑収益	130,152	3,798,478	3,928,630	467,448	0	4,396,078
雑収益	130,152	3,798,478	3,928,630	467,448	0	4,396,078
経常収益計	935,645	791,741,172	792,676,817	313,433,433	34,747,952	1,140,858,202
(2) 経常費用						
事業費	5,479,081	870,158,229	875,637,310	265,374,022	0	1,141,011,332
役員報酬	0	3,332,519	3,332,519	554,230	0	3,886,749
報酬	0	46,756,854	46,756,854	26,284,928	0	73,041,782
給料	0	106,539,974	106,539,974	6,873,600	0	113,413,574
職員手当	0	84,536,406	84,536,406	5,531,940	0	90,068,346
臨時職員賃金	0	40,865,818	40,865,818	4,741,384	0	45,607,202
退職給付費用	0	9,767,000	9,767,000	212,000	0	9,979,000
福利厚生費	0	43,323,192	43,323,192	6,706,804	0	50,029,996
会議費	224,598	258,148	482,746	0	0	482,746
交際費	0	0	0	150,700	0	150,700
旅費交通費	395,241	6,419,338	6,814,579	333,280	0	7,147,859
通信運搬費	561,708	3,313,659	3,875,367	130,050	0	4,005,417
減価償却費	0	0	0	1,055,968	0	1,055,968
消耗什器備品費	17,710	2,655,468	2,673,178	0	0	2,673,178
消耗品費	47,401	35,303,989	35,351,390	3,433,307	0	38,784,697
水族購入費	0	2,387,944	2,387,944	0	0	2,387,944
飼料購入費	0	20,890,282	20,890,282	0	0	20,890,282
修繕費	0	34,270,403	34,270,403	0	0	34,270,403
印刷製本費	2,137,520	2,907,449	5,044,969	0	0	5,044,969
燃料費	0	47,400,560	47,400,560	0	0	47,400,560
光熱水料費	0	125,592,259	125,592,259	561,283	0	126,153,542
賃借料	1,209,289	9,474,611	10,683,900	1,830,142	0	12,514,042
保険料	22,460	1,287,677	1,310,137	341,243	0	1,651,380
諸謝金	345,000	299,000	644,000	0	0	644,000
手数料	17,295	7,626,696	7,643,991	4,886,791	0	12,530,782
広報宣伝費	0	20,928,180	20,928,180	0	0	20,928,180
租税公課	0	27,837,100	27,837,100	9,748,100	0	37,585,200
負担金	0	1,075,655	1,075,655	0	0	1,075,655
寄付金	0	560,000	560,000	0	0	560,000
委託費	500,859	184,532,238	185,033,097	1,217,270	0	186,250,367
館内販売仕入費	0	0	0	190,777,569	0	190,777,569
雑費	0	15,810	15,810	3,433	0	19,243

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業会計	法人会計	合 計
	自主事業	受託事業	小計			
管理費	0	0	0	0	45,278,800	45,278,800
役員報酬	0	0	0	0	522,475	522,475
報酬	0	0	0	0	215,208	215,208
給料	0	0	0	0	13,949,700	13,949,700
職員手当	0	0	0	0	9,387,571	9,387,571
臨時職員賃金	0	0	0	0	4,461,320	4,461,320
退職給付費用	0	0	0	0	6,761,000	6,761,000
福利厚生費	0	0	0	0	4,867,229	4,867,229
会議費	0	0	0	0	455,247	455,247
旅費交通費	0	0	0	0	211,170	211,170
通信運搬費	0	0	0	0	635,965	635,965
消耗什器備品費	0	0	0	0	112,200	112,200
消耗品費	0	0	0	0	390,697	390,697
修繕費	0	0	0	0	62,370	62,370
印刷製本費	0	0	0	0	1,259,224	1,259,224
賃借料	0	0	0	0	760,074	760,074
保険料	0	0	0	0	68,840	68,840
手数料	0	0	0	0	192,510	192,510
租税公課	0	0	0	0	145,000	145,000
負担金	0	0	0	0	821,000	821,000
経常費用計	5,479,081	870,158,229	875,637,310	265,374,022	45,278,800	1,186,290,132
当期経常増減額	△ 4,543,436	△ 78,417,057	△ 82,960,493	48,059,411	△ 10,530,848	△ 45,431,930
2.経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	3,025,436	78,417,057	81,442,493	△ 91,973,341	10,530,848	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 1,518,000	0	△ 1,518,000	△ 43,913,930	0	△ 45,431,930
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	71,000	0	71,000
当期一般正味財産増減額	△ 1,518,000	0	△ 1,518,000	△ 43,984,930	0	△ 45,502,930
一般正味財産期首残高	14,019,444	12,591,706	26,611,150	162,347,583	0	188,958,733
一般正味財産期末残高	12,501,444	12,591,706	25,093,150	118,362,653	0	143,455,803
II 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000,000	0	200,000,000	0	0	200,000,000
指定正味財産期末残高	200,000,000	0	200,000,000	0	0	200,000,000
III 正味財産期末残高	212,501,444	12,591,706	225,093,150	118,362,653	0	343,455,803

5 財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1)有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券…償却原価法によっている。
- (2)棚卸資産の評価基準及び評価方法
商品及び貯蔵品は、移動平均法によっている。
- (3)固定資産の減価償却の方法
定額法による減価償却を実施している。
- (4)退職給付引当金の計上基準
期末退職給与の要支給額を限度として計上している。
- (5)消費税の会計処理
消費税の会計処理は税込み方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	82,538,938	0	143,038	82,395,900
投資有価証券	117,461,062	143,038	0	117,604,100
小 計	200,000,000	143,038	143,038	200,000,000
特定資産				
退職給付引当普通預金	215,598,518	16,740,000	1,318,080	231,020,438
退職給付引当有価証券	20,000,000	0	0	20,000,000
減価償却引当普通預金	14,191,566	1,055,968	0	15,247,534
特定費用準備普通預金	6,243,000	4,725,000	6,243,000	4,725,000
小 計	256,033,084	22,520,968	7,561,080	270,992,972
合 計	456,033,084	22,664,006	7,704,118	470,992,972

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
普通預金	82,395,900	82,395,900	0	0
投資有価証券	117,604,100	117,604,100	0	0
小 計	200,000,000	200,000,000	0	0
特定資産				
退職給付引当普通預金	231,020,438	0	0	231,020,438
退職給付引当有価証券	20,000,000	0	0	20,000,000
減価償却引当普通預金	15,247,534	0	15,247,534	0
特定費用準備普通預金	4,725,000	0	4,725,000	0
小 計	270,992,972	0	19,972,534	251,020,438
合 計	470,992,972	200,000,000	19,972,534	251,020,438

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	当期償却額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	1,598,670	0	1,598,669	1
什器備品	15,466,630	1,055,968	13,648,865	1,817,765
合 計	17,065,300	1,055,968	15,247,534	1,817,766

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時価	評価損益
国 債			
第179回20年国債	97,604,100	78,080,000	△ 19,524,100
債 券			
第2回グリーン共同発行地方債	20,000,000	18,930,000	△ 1,070,000
第28回みずほファイナンシャルG劣後債	10,000,000	9,505,000	△ 495,000
第29回みずほファイナンシャルG期限前劣後債	10,000,000	9,837,000	△ 163,000
合 計	137,604,100	116,352,000	△ 21,252,100

6 附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、5 財務諸表に対する注記「2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載しているため、省略します。

2 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	235,598,518	16,740,000	1,318,080	0	251,020,438

7 財産目録

令和7年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金等として	14,292,596
普通預金	南日本銀行本店	運転資金等として	197,509,026
未収金	信販等6社 カ・コーラボ・トラース他4社 携帯電話等4社	クレジット・代引売掛商品代金等 販売手数料等 館内設置通信機器電気代等	6,505,938 1,277,568 429,118
商品	売店	文房具、書籍など	1,236,793
貯蔵品	売店	包装用品	1,816,110
流動資産合計			223,067,149
(固定資産)			
基本財産			
普通預金	南日本銀行本店	公益目的保有財産	82,395,900
投資有価証券	大和証券	第179回20年国債 第2回グリーン共同発行地方債	97,604,100 20,000,000
特定資産			
退職給付引当資産		公社員33名に対する退職金の支払いに備えたもの	
普通預金	南日本銀行本店	第28回みずほFG劣後債	231,020,438
投資有価証券	みずほ証券	第29回みずほFG期限前劣後債	10,000,000 10,000,000
減価償却引当資産		什器備品及び車両運搬具の償却引当資産	
普通預金	南日本銀行本店		15,247,534
特定費用準備資産			
普通預金	南日本銀行本店	ジンベエザメ収集資金	4,725,000
その他固定資産			
車両運搬具	小型貨物車1台	公益目的保有財産 水族収集等の用に供している	1
什器備品	店内構造物 紙幣計数機 バーコードプリンタ 大型金庫1台 P O Sシステム I Pトランシーバ 両替機	収益事業の用に供している 同上 同上 同上 同上 同上 同上	1,721,565 96,195 1 1 1 1 1
預託金	1台分 1口	自動車リサイクル料金 西日本自動車共済協同組合加入金	9,550 1,000
固定資産合計			472,821,288
資産合計			695,888,437

(単位：円)

貸借対照表科目	債務の相手等	債務の内容等	金額
(流動負債)			
未払金	KM企画他27社 芙蓉商事 鶴田機工 南国殖産 フタバ ベストセキュリティ 濱島印刷 三菱電機ビルリューションズ 神畑養魚 熊谷消防設備 九州電力 南国殖産 日本瓦斯 鹿児島市水道局 他76社 当公社従業員 厚生労働省年金局 各税務機関 鹿児島市	ショップ商品仕入代金 設備運転管理・清掃業務等 飼育ポンプ修繕等 熱源・空調設備保守点検業務等 特別企画展展示会場設営業務 常駐・臨時警備業務 GWイベントチラシ作成等 昇降機・ブラインチラー保守点検業務等 餌料 消防設備点検業務 電気料金2-3月分 発電機燃料代3月分 ガス料金3月分 上下水道料金2-3月分 各種商品・サービス、委託・修繕等 報酬・手当等3月分 社会保険料2-3月分 決算時諸税 かごしま水族館管理等業務委託料精算額	14,763,507 6,506,500 5,923,500 4,878,500 2,860,000 1,837,110 1,301,520 1,144,990 1,063,095 1,056,000 12,097,415 3,682,800 2,502,071 2,233,896 12,438,542 9,250,105 3,519,243 7,598,300 198,654 4,610,123 1,946,325
預り金	社会保険料 所得税・住民税		
流動負債合計			101,412,196
(固定負債)			
退職給付 引当金	職員分	公社員33名に対する退職金の支払いに備えたもの	251,020,438
固定負債合計			251,020,438
負債合計			352,432,634
正味財産			343,455,803

監査報告書

令和7年6月3日

公益財団法人鹿児島市水族館公社

理事長 下鶴 隆央 殿

公益財団法人鹿児島市水族館公社

監事 高橋 雷太

監事 柳田 ひろみ

私たち監事は、公益財団法人鹿児島市水族館公社の令和6年4月1日から令和7年3月31日までの第13期事業年度における会計及び業務の監査を行い、その方法の概要及び結果について次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等から業務の報告を聴取し、必要に応じて説明を求めるとともに、重要な関係書類の閲覧を実施し、業務及び財産の状況を調査し、当該事業年度に係る事業報告について検討した。
- (2) 会計帳簿又はこれに関連する資料の閲覧、調査を実施し、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討した。

2 監査の結果

- (1) 事業報告は、法令及び定款に従い、当財団の状況を正しく示しているものと認める。
- (2) 計算書類及び附属明細書並びに財産目録は、当財団の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められない。

以上